

東京とどの実会

幹事長 前田良三

第六十回記念総会は、六月十九日、新宿・京王プラザホテルに百五十余名の同窓生が集い開催されました。昭和二五年、東京在住の野付牛中学、北見中学の卒業生が浅草に参集したのが東京とどの実会の始まりと伝え聞いています。回を重ねて今年は六十回の節目の年となりました。最高齢は吉見一郎さん（昭四四年卒）、今年白寿を迎えられる吉見先輩に会から花束を贈呈し、その健康を祝しました。

東京北見会の井戸理恵子会長、東京もいわ会の今井正司会長に来賓としてご臨席いただきました。とどの実会の渡辺和勇会長（昭二十六年卒）、札幌とどの実会の安藤英征会長（昭三十五年卒）も遠方より駆けつけられ、小谷每彦市長（昭四十年卒）よりお祝いのメッセージも届き、記念総会に華を添えてもらいました。

今年の当番は昭和四十二年卒、昭五十二年卒期でした。平澤芳樹さん、奥村京子さん（昭四十二年卒）の司会で総会が進行しました。校歌斉唱、半田護会長の挨拶、物故者への黙祷、会計報告と承認と議事が進み、役員の変更が報告されて、半田護会長（昭

三十七年卒）一前田良三幹事長（昭四十年卒）体制が承認されました。今年の校歌は長谷川洸二さん（昭三十八年卒）の指揮、村田孝樹さん（平十五年卒）のピアノに合わせて、若いも若きも青春時代に思いを馳せながら新校歌・旧校歌を斉唱しました。久々のピアノ伴奏での校歌斉唱は胸に迫るものがありました。

六十周年記念祭では、樋崎妙子さん、辻孝子さん（昭四十一年卒）による地唄舞、福村忠雄さん（昭四十七年卒）（東京フィル）のチェロ演奏、村田孝樹さん（平十五年卒）（東京芸大卒）のピアノ演奏がありました。長谷川知子さん（昭四十年卒）（絵本画家）、伊藤彰則さん（昭四十八年卒）（洋画家）の作品展示をして、多くの同窓生に感銘を与えました。又、進行役を務めた西村文江さん（昭四十七年卒）（ナレーター）の軽妙で洒落な話芸も相まって格調高い記念祭となりました。小山内清隆さん（昭二十六年卒）による乾杯の発声で始まった懇親会は、卒業期の下一桁毎に十組のテーブルが用意され、同期は勿論世代を超えて交流交歓をしました。

十年前に、総会の一企画として皇居をジョギングする“ミニ強行遠足”を総会前に始めました。現在は形を変

えて東京の名所散策ツアーと称して総会に欠かせない催しとなっています。五回目の今年は、水戸光圀と徳川の女性たち”とのサブタイトルのもと、湯島天神、伝通院、小石川後樂園など文京区の名所を散策しました。二十名の参加を得て今年も好評でした。懇親会の席で散策の参加者も登壇し、リーダーの生駒篤副幹事長（昭四十七年卒）から楽しい史跡散策の報告がありました。

劇団民芸の佐々木梅治さん（昭三十八年卒）、女優の沢田亜矢子さん（昭四十二年卒）が壇上に上がり挨拶をする頃には最高潮に達しました。盛り上がりを見せた懇親会でしたが、村田由美子さん（昭三十九年卒）と吉見じゅりさん（昭五十六年卒）のリードで”今日の日はさようなら”を全員で合唱した後、作田英二副会長（昭四十三年卒）の中締めで閉会となりました。その後も沢田亜矢子さんとの記念撮影が続き、来年の再会を約束し、名残を惜しみながら散会しました。多くの期が新宿界限で二次会を楽しんだようです。

このような東京とどの実会ですが、若手（五十五歳以下）の参加が少ないのが今抱える課題の一つです。今年ホームページもリニューアルし若い年

代の掘り起こしに取り組んでいるところ。故郷を共有する人達の集まりである東京北見会とこれからも一層連携を深め、郷土、北見の発展に少しでも寄与できれば良いと考えています。末筆ではありますが、東京北見会の益々の発展を祈念いたします。



沢田亜矢子さんと。

東京と



東京とどの実会 60周年記念総会！半田会長